

# なんじゃもんじゃ

Vol. 31

Municipal Ena Hospital Public Relations Magazine

恵那病院ホームページはこちら

<http://www.enahp.enat.jp/>

## INDEX

ピロリ菌についてのお話	…1
外来運営委員会について	…2
開放病床のご案内	…3
看護師募集のお知らせ	…3
外来担当表	…4
クイズ	…4
編集後記	…4



当院は平成22年より  
(財)日本医療機能評価  
機構の認定を受けてお  
ります。

## ピロリ菌についてのお話

ピロリ菌（ヘリコバクターピロリ）については、多くの皆さんがある程度御存じのことと思います。これまで日本ではピロリ菌の除菌治療は、胃・十二指腸潰瘍やある種の腫瘍に対してしか保険適用が認められていませんでしたが、今年の2月より慢性胃炎に対しても保険適用となりました。そこで今回はピロリ菌について少し書きたいと思います。

ピロリ菌が発見されたのはそれほど古い話ではなく、1979年のことです。それまでも胃の中に細菌がいるのではないかという説はあったのですが、酸性が強い中ではとても細菌は生息できないという説が有力になる中、オーストラリアの医師により発見されました。ちなみに彼らは、この功績によりノーベル賞を受賞されています。ピロリ菌はある酵素を出し、自分の周りにバリアを作ることによって、胃酸の中でも生きられます（ピロリ菌の検査の中にはこの反応を利用したものがあります）。

ピロリ菌は、いったん感染すると多くは除菌しない限り胃の中に居続けます。ピロリ菌が感染することにより、胃粘膜に炎症が起こり、それが長期間続くことで、胃粘膜全体に炎症が広がり、慢性胃炎の状態となります。その一部は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍を引き起こしたりします。そのほかにも、ある種のリンパ腫や、ポリープなどの原因になるとも言われています。また、ピロリ菌と胃がんは、密接に関係しているといわれ、世界保健機構（WHO）によりピロリ菌は、発癌性リスクでグループ1と認定されました。このグループにはタバコ、B型、C型肝炎ウイルス、エイズウイルスなどが含まれていることから、そのリスクの確実性がうかがわれます。なお、日本ヘリコバクター学会も胃がん予防のために除菌を勧

める指針をだしています。もちろんピロリ菌に感染している人がすべて癌になるわけではありません。60代以上の日本人では、60%以上が感染しているとの報告もあり、逆に言えばピロリ菌に感染してもほとんどの人は癌にはなりません。そのため医療費の適正利用の観点からも、ある程度対象を絞った検査、治療が望ましいと思います。

さてピロリ菌の検査には、内視鏡を使う方法と、使わない方法とがありますが、それぞれに一長一短があり、どの検査が一番すぐれているとは一概に言えません。みなさんの中には、内視鏡をしないで、ピロリ菌の検査、除菌ができないかと思われる方も見えるかもしれませんが、現在ピロリ菌除菌が保険適用になっている疾患では一つ（消化器疾患ではありません）を除き、その診断にあたっては、内視鏡検査が必要です。そのため、心窩部痛、胃もたれなど何らかの消化器症状がある方は、内視鏡の検査を受けられ、そのうえでピロリ菌の検査をお受けになることをお勧めします。

最後に治療についてですが、これはまずは胃酸分泌抑制薬と抗生物質2種類を組み合わせた3剤を7日間服用します。この治療による成功率は約7割といったところです。これが効かなかった場合には、抗生物質の種類を変えて治療を行うことになります。

字数の関係上、非常に大雑把な話になってしまいましたが、わからない点などあればまた外来でご相談ください。



(内科 山田誠史)



## 外来運営委員会について



外来運営委員会は、医師・看護師・診療放射線技師、臨床検査技師・事務職員で構成されており、毎月1回、患者数などのデータ分析や患者さんから頂いた意見を基に、市立恵那病院の外来診療がより良いものになるために活動しています。



現在の外来診療は、内科・外科・整形外科・小児科・眼科・救急外来・耳鼻科(火・木曜日午前)・婦人科(毎週水曜、第2・4土曜日)・物忘れ外来・乳腺外来(毎週木曜日)・フットケア外来(金曜日午後)・人間ドック(火曜日)・健康診断・禁煙外来(第1・3金曜日)・外来がん化学療法・母乳育児相談があります。

当院の外来に求められる役割は、社会情勢の変化に伴って様々な形で変化が求められています。入院在院日数の短縮化、糖尿病をはじめとする生活習慣病の増加に伴う健診や継続治療・インスリン導入、外来がん化学療法の実施や物忘れ外来などの専門外来・地域の二次救急対応などの多様化した外来診療・指導が求められています。

また、病棟や地域開業医・介護施設等と連携した診療や治療・看護が円滑に行われるように、MSW(医療相談員)やケアマネージャー(介護支援専門員)とも情報交換を密にして、患者さんやご家族が不安なく受診できるよう取り組んでいます。今後も患者さんから「恵那病院に受診してよかった」、「恵那病院に受診しよう」と思われ、信頼される外来にするため職員が一丸となって頑張っています。

## 外来受診時のお願い

1. 当院は、全科午前診察(8:30~11:30受付。9:00~診察)の体制をとっています。小児科のみ月・木(午後14:00~15:30)で受付診療を行っています。

具合の悪い方は午前中の診察に来ていただくことで、適切な診察を行うことが出来ますが、午後の受診は、医師の都合(手術や病棟患者対応、救急車患者対応など)により受診できないことがあります。夜間は当直医の診察となるため、必ずしもその専門領域の医師が当直をしているとは限らないことをご了承ください。また、午後と夜間の受診希望の場合は、直接、病院に来院されても、医師の都合により診察できない、または、待ち時間が長くなってしまふ、他の診療科の医師の診察となってしまう可能性があります。まず、来院される前に、お電話を頂き、病状をお聞かせ下さい。



2. お薬手帳を持参してきてください。

地域の開業医や他の病院でお薬をもらっている場合は、お薬手帳を受診時に持ってきて下さい。同じ薬効の薬の投与や飲み合わせの悪い薬の投与を防止して、適切な診療を心がけたいと考えています。



(外来看護師長 長谷部美江子)





## 開放病床のご案内

当院では、医療の質の向上、患者さんサービスの向上、医療資源の有効利用を推進するために、病院と診療所の連携を密接にしてゆく必要があります。当院では、地域の診療所の先生方に開放病床5床を提供させて頂いております。

### 開放病床とは？

かかりつけの先生が患者さんに対して入院加療が必要と判断し、当院の開放病床に入院していただくことにより、かかりつけの先生も開放病床へ出向いて当院の主治医とともに患者さんを診察することができるシステムです。

通常は1人の患者さんに対し主治医は1人ですが、このシステムを利用するこ

とにより、患者さんにとっては「かかりつけの先生」と「当院の主治医」の2人の主治医がいることとなります。患者さんがより安心して医療を受けていただけるだけでなく、主治医間で入院中の情報把握ができ、退院後の継続医療がスムーズに行うことができます。

※ 開放病床を利用できるのは、当院の登録医になって頂いているかかりつけの先生に限ります。

※ 開放病床入院中、かかりつけの先生（登録医）が来院され共同診療した際には、若干の診察費がかかります。

（医事課 安藤嘉英）

### 開放病床登録医

安部医院	回生堂医院	さつき内科・小児科クリニック	蜂谷医院
井口ハートクリニック	笠木医院	十全堂医院	服部内科クリニック
上田医院	可知医院	たぐち耳鼻咽喉科	ハナノキ内科クリニック
恵那医院	加藤クリニック	田口クリニック	林外科・内科
恵那ファミリークリニック	上近藤診療所	田中クリニック	林メディカルクリニック
恵那メモリアルクリニック	河上クリニック	中部クリニック	深谷医院
大井リハビリテーションクリニック	恵北医院	つねだ整形外科皮膚科	古橋内科医院
大湫病院附属恵那診療所	木村内科	東和クリニック	古橋内科クリニック
おおさわ医院	国民健康保険蛭川診療所	中川医院	松下眼科医院
おがわ医院	小島クリニック	中津クリニック	山田診療所
尾崎医院	さか整形外科	丹羽内科・ペインクリニック	森川クリニック
小野医院	佐生医院	長谷川診療所	度会医院

（順不同・敬称略）



## 看護師募集

職 種：看護師（若干名）

休 日：日曜日、土曜日、祝日を含めて月7.5日以上

有給休暇：最大年間20日（採用月により変動します）

特別休暇：年末年始、リフレッシュ休暇、産前産後休暇、忌引等

※臨時職員（日勤勤務者）看護師も募集しています。下記までご連絡下さい。

市立恵那病院（担当 清原・渡部）☎0573-26-2121